

眼瞼下垂って聞いたことがありますか？

JCHO宮崎江南病院 形成外科
福田麻衣美

目次

- ①はじめに
- ②眼瞼下垂とは？
- ③原因と種類
- ④症状と日常生活への影響
- ⑤治療法の選択肢
- ⑥手術について
- ⑦質疑応答・まとめ

はじめに

はじめて！こんにちは！

形成外科医師の福田麻衣美(ふくだまいみ)です。

今日は『眼瞼下垂(がんけんかすい)』という病気のお話をさせていただきます。

聞いたことがありますか？

今日の目的は、『眼瞼下垂を正しく知ってもらうこと』です！



眼瞼下垂とは？

眼瞼下垂とは？

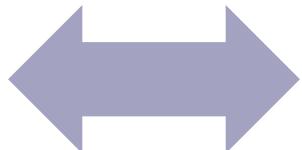
まぶたが下がって
視界が狭くなる状態



- ◎ 眠そうに見える
- ◎ 物がみえにくい
- ◎ 肩こり
- ◎ 頭痛
- ◎ 疲れやすい など



健康なまぶたとの比較



瞳孔に瞼が覆い被さって
見えにくい、、、



よくある誤解

- 美容目的の治療でしょ？
- もう若いないしこのくらい別にいいかな、、
- 視力も良くなる？

よくある誤解

- ▶□医療機関で診察を受けて『眼瞼下垂』の診断となれば、
保険診療で治療を受けることができる病気です。
- ▶□見えにくさだけでなく、頭痛や肩こりが軽減される可能性があります。
- ▶□眼瞼下垂の手術では、『視野(見える範囲)』を改善させることはできますが、
『視力』を改善させることはできません。

症状と日常生活への影響

- 視界が狭くなる
- 頭痛、肩こりの原因
- 無意識に眉を上げて疲れる
- 子どもでは、視力の発達障害のリスク

原因と種類



原因と種類

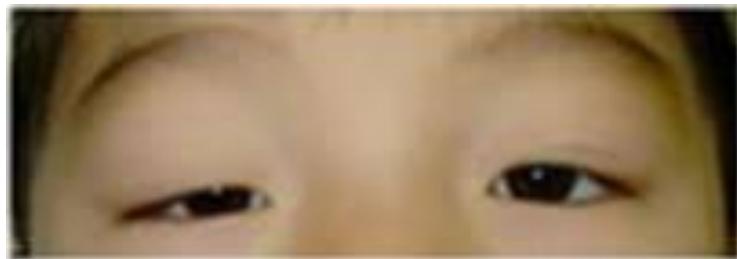
大きく分けて2つあります。

①生まれつきの眼瞼下垂

②大人になってからなる眼瞼下垂

①生まれつきの眼瞼下垂

- ・生まれつきまぶたを持ち上げる筋肉が弱い



(日本形成外科学会HPより)

- ・見えにくさを補うために、おでこの筋肉を使い
眉毛を上げて目を開けようとする
 - ・まっすぐだと見えにくいので、顎を上げて物を見ようとする
- ⇒視力の発達に悪影響を及ぼすため、手術を含めた治療を行う

②大人になってからなる眼瞼下垂

- 加齢性
- リスク：ハードコンタクトレンズ長期使用、アトピーでよく目を擦ってしまう
- 基礎疾患があるもの⇒⇒⇒注意が必要です

②大人になってからなる眼瞼下垂

- 基礎疾患があるもの

たとえば

筋肉の病気【重症筋無力症、筋緊張性ジストロフィーなど】

神経の病気【動眼神経麻痺、顔面神経麻痺、脳血管障害、脳腫瘍など】

甲状腺の病気【甲状腺機能低下症など】

大きな病気が隠れている可能性があります

②大人になってからなる眼瞼下垂

『見えにくさ』を感じたらまずは眼科に相談しましょう。

原因となる病気が隠れていないか？

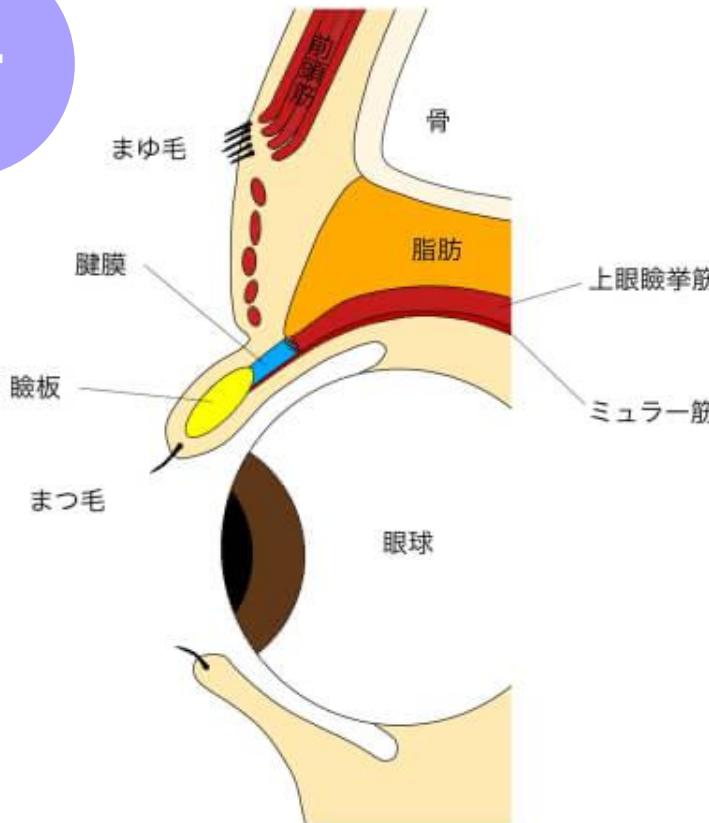


「手術で改善する可能性がある」

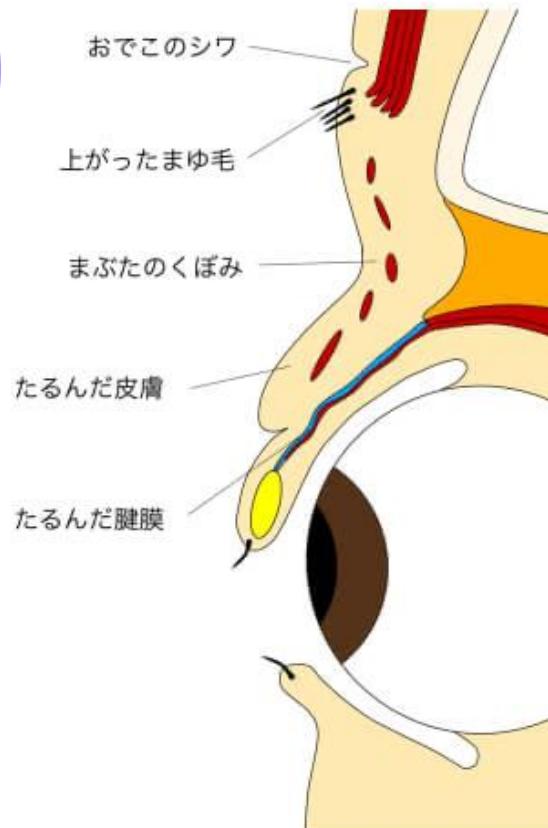
形成外科など、手術を行なっている病院に紹介になります。

加齢性眼瞼下垂①；腱膜性眼瞼下垂

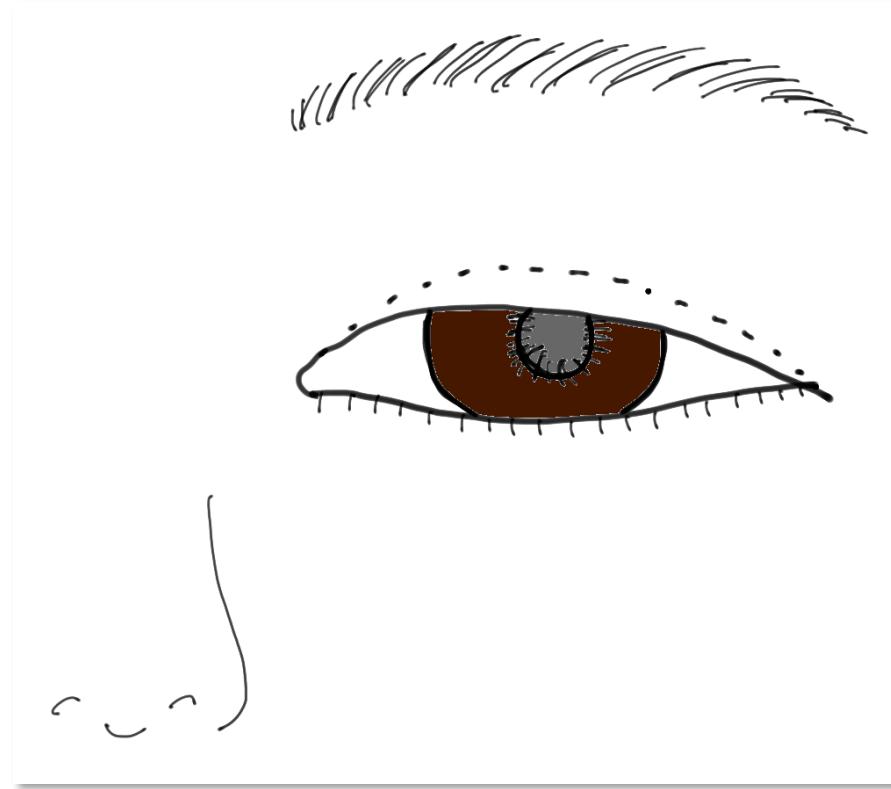
正常



腱膜性
眼瞼下垂



加齢性眼瞼下垂②；皮膚性眼瞼下垂



まぶたの縁はあげているけど、
皮膚が垂れて瞳孔をふさいでいる、、

似ているけど、眼瞼下垂ではないもの

- 眼瞼痙攣（けいれん）

まぶたの周りの筋肉（眼輪筋など）に力が入りすぎてまぶたが開けにくい状態。

実際に診察でも行う、簡単なテストがあります

似ているけど、眼瞼下垂ではないもの

瞬目(しゅんもく)テスト

- 軽く瞬きをくり返す
- まぶたを強くつむる⇨ぱっと開けるをくり返す

瞬きができない

けいれんのような瞬きを生じる

まぶたが開かない

顔の筋肉が
強くけいれんする

⇨ 眼瞼痙攣の可能性があります

治療法の選択肢



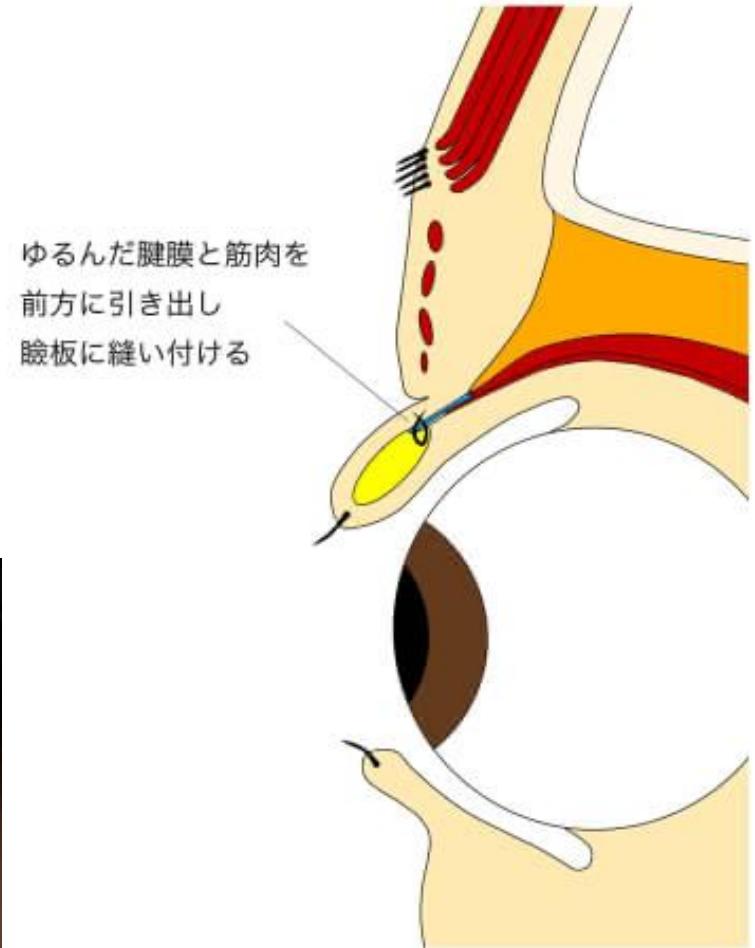
治療法の選択肢

- 基本は手術が必要です
- 目薬、飲み薬などで改善するものではありません

手術の種類

腱膜性眼瞼下垂 ⇨ 拳筋前転術

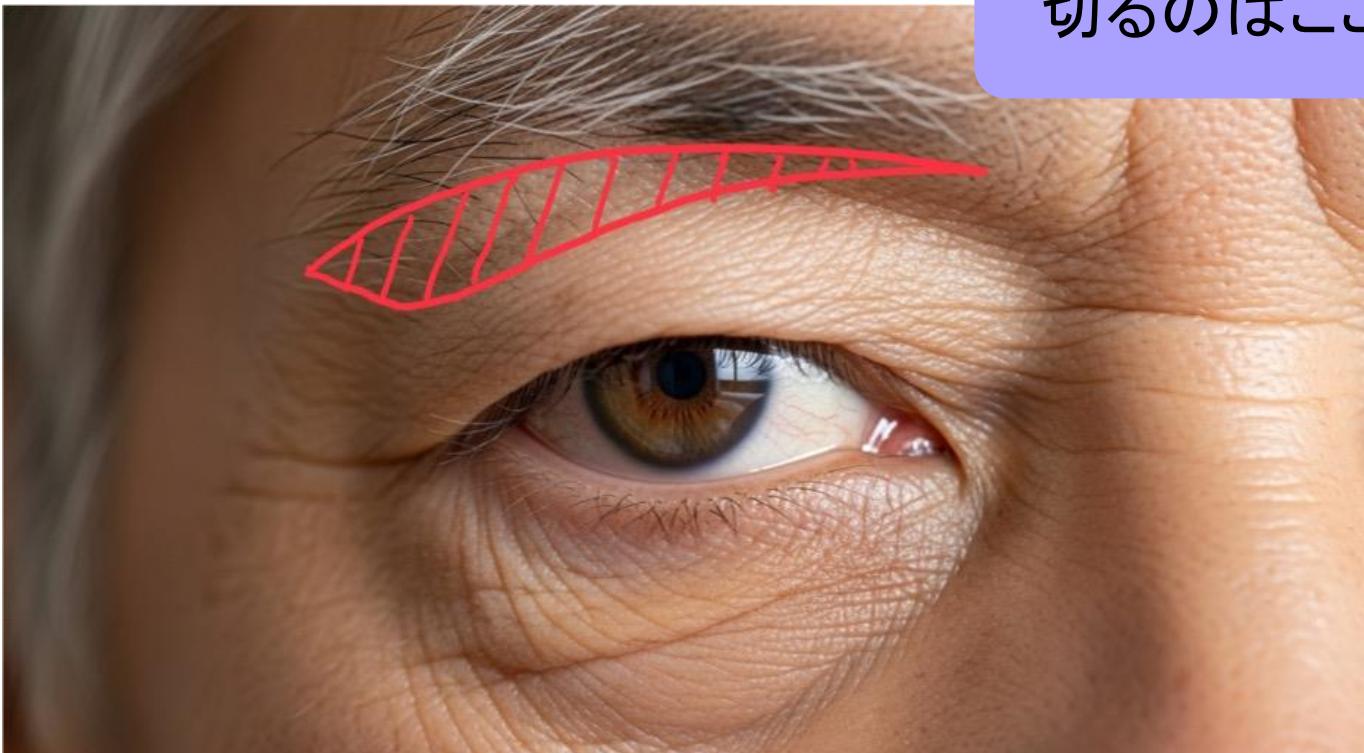
切るのはここ！



手術の種類

皮膚性眼瞼下垂⇒余剰皮膚切除

切るのはここ！



手術について



実際の治療の流れ

症状は？どんな状態？

手術適応があるか？

診察

1泊2日～抜糸まで約1週間入院

手術の種類や基礎疾患によって異なります

短期入院手術

術前検査

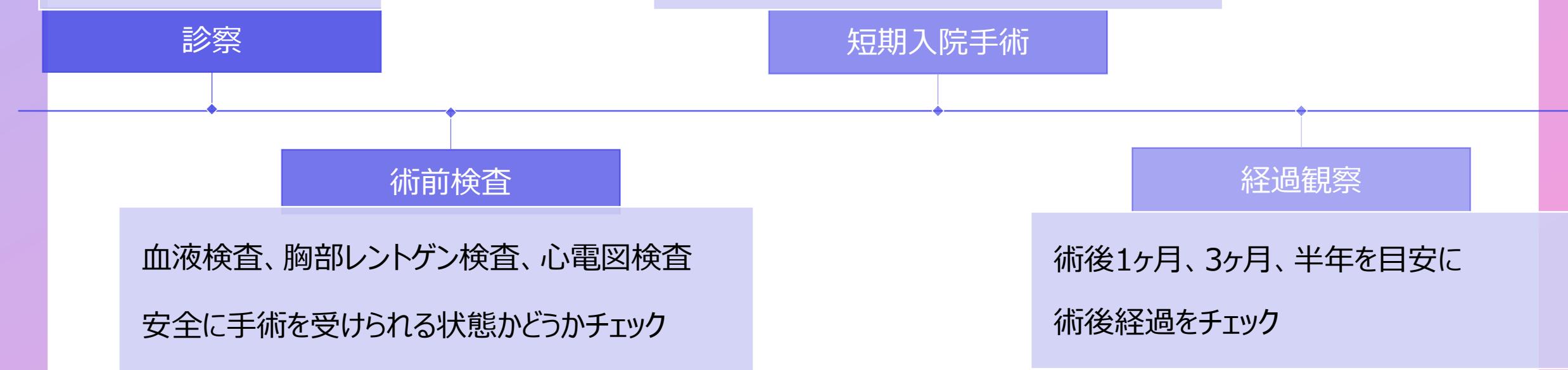
血液検査、胸部レントゲン検査、心電図検査

安全に手術を受けられる状態かどうかチェック

経過観察

術後1ヶ月、3ヶ月、半年を目安に

術後経過をチェック



手術の日を決める

- 術後2週間は特に腫れます！ 

個人差はありますが、1ヶ月程度かけて気にならなくなります

手術の枠には限りがあるため、
受診後すぐに手術できるわけではありません

大事な予定がある時は早めに受診しましょう

手術を受ける際に知っておいてほしいこと

- 手術中・手術直後の状態と比較して、術後1ヶ月、3ヶ月、半年と経過していく中で少しづつ状態が変化してきます。
- 一つの術式では改善しない場合は複数回に分けて行うこともあります。

手術を受ける際に知っておいてほしいこと

- 多くの場合で頭痛や肩こりは改善しますが、
そうではない場合もあります。
- ドライアイ：瞼が大きくあいて涙が蒸発しやすくなるため
涙を排出するポンプ機能が改善されるため
- 片方の手術を行なった後で、もう片方の正常に見えた方のまぶたが
下がってくることがあります。両側同時に行つた方が無難です。

まとめ・質疑応答



まとめ

- 眼瞼下垂は『見た目』だけでなく『機能の問題』でもあります
- 気になった場合はまず『眼科』を受診しましょう



ありがとうございました